

2018年度 自主保全士検定試験 実技試験の課題

| <p>1 級</p> <p>以下の中から 10 課題程度を出題します</p> | <p>2 級</p> <p>以下の中から 10 課題程度を出題します</p> |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクアセスメント ・ Q C 手法 ・ 品質保全 ・ 自主保全活動支援ツール ・ 発生源・困難個所対策 ・ 総点検教育 ・ 【選択問題】 ※電卓の使用可 [選択 A] 設備総合効率の計算 [選択 B] プラント総合効率の計算 ・ 故障ゼロの考え方 ・ 改善・解析手法 ・ 締結部品 ・ 空圧 ・ 油圧 ・ 電気 ・ 図面の見方 ※定規の使用可 | <ul style="list-style-type: none"> ・ K Y T (危険予知トレーニング) ・ 5 S に関する知識 ・ Q C 手法 ・ 自主保全活動支援ツール ・ 初期清掃 ・ 【選択問題】 [選択 A] 生産活動の効率化を阻害するロス (加工・組立) [選択 B] 生産活動の効率化を阻害するロス (装置産業) ・ 故障ゼロの考え方 ・ 改善・解析手法 ・ 締結部品 ・ 空圧 ・ 油圧 ・ 電気 ・ 図面の見方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 出題形式は、記述式（計算、作図、作表、論述など）および多肢選択式です。 ・ 多肢選択式の解答用紙にはマークシートを使用します。 * 選択問題が出題された場合、試験当日に受験者が [選択 A] または [選択 B] のどちらかを選んで解答します。 * 上記の複数の課題にまたがる問題が出題されることもあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出題形式は、多肢選択式です。 ・ 解答用紙にはマークシートを使用します。 * 選択問題が出題された場合、試験当日に受験者が [選択 A] または [選択 B] のどちらかを選んで解答します。 * 上記の複数の課題にまたがる問題が出題されることもあります。 |